



森のタペストリー

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- 自然素材を生かし、自分だけのオリジナル作品を作ること、創意工夫する喜びを味わうことができます。
- 道具の安全な使い方を習得することができます。

2 活動の概要

身近で入手できる木の枝や木の実で、部屋に飾れる壁掛けを作ります。写真を貼り付けるフォトフレームとして作ることもできます。



<作品例>

- (1) 人数 120人以内
- (2) 対象 小学5年生～中学生・高校生
- (3) 期間 通年
- (4) 時間 1時間（説明10分+活動50分）
- (5) 場所 体育館、研修室1・2
- (6) 経費 40円／1作品（通常バージョン）
60円／1作品（フォトフレームバージョン）
※写真の印刷1枚につき20円かかります。
- (7) 指導 依頼のある場合、製作方法等について、自然の家職員が説明を行う。

3 準備物

団体	救急薬品
個人	特になし
自然の家	材料：自然物、幹巻きテープ、ひも・毛糸、ペーパータイ・モール 用具：ホットボンド、延長コード、剪定ばさみ、のこぎり、紙やすり、裁ちばさみ、直定規（30cm）、油性ペン、作業板、（両面テープ：写真貼付用）

4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。

口金がとても熱くなるので、やけどの危険がある。

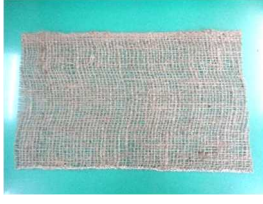





でてきたばかりの接着剤もとても熱いので、注意する。



<グルーガン>

本体が十分冷えてからコードをむすび、返却する。

5 活動の流れ

	内 容	
説 明	<ul style="list-style-type: none"> ・参考作品を提示しながら実演し、作り方について説明 ・用具の使い方と安全について説明 	
活 動	<p>① 直定規で測って幹巻きテープ 30 cmを切る。</p> <p>② 木の枝をテープの幅程度の長さに2本切り、1本にひも（毛糸）を2カ所で結びつける。</p> <p>③ ひもを結んだ枝にペーパータイ（モール）で幹巻きテープの上側にとめる。タイ（モール）は、2本を合わせてねじって折り曲げる。下側も同じようにして枝をとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枝は幹巻きテープの端から5 cm程度離して付ける。 ・ペーパータイ（モール）は1本を2等分して一本の枝をとめる。（1作品で2本使う） <p>④ 上下の枝の間に自然物をホットボンドで貼り付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドングリなど表面がスベスベしているものを貼り付けるときは、紙やすりで接着面に傷を付けてからホットボンドを付ける。 ・木の枝は剪定ばさみや、のこぎりで好みの長さに切る。 ・油性マジックで自然物に絵を描いたり着色してもよい。 ・写真を貼り付けるフォトフレームタイプにする場合は、自然物を付ける前に、写真を貼るスペースに油性マジックで印を付けておき、その範囲内に自然物が入らないようにする。写真は最後に両面テープで貼り付ける。 	 ①  ②  ③  ③ <p>ねじって折り曲げる</p>  ④  ④ <p>印はなるべく小さくつける</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・感想発表や友達の作品の鑑賞 ・用具の返却と後片づけ 	

6 実施上の留意点

- ・作品を持ち帰ることを考慮し、あまり立体的な作品にしない。各自で持ち帰る際には、ビニール袋等の準備が必要である。

7 安全に実施するためのポイント

- ・刃物を扱うときは、刃の前に指や手を置かないように十分気をつける。
- ・ホットボンドによるやけどに十分気をつける。
- ・用具を散乱させておかないように注意する。



<写真をつけたもの>